

新マンモグラフィを導入しました。

キヤノンメディカルシステムズ社製 Pe·ru·ru LaPlus (ペルルラプラス)を導入。最新画像アプリケーションである、トモシンセシスに対応しており、診断性能の向上が期待されます。

New

Pe·ru·ru LaPlus

トモシンセシス対応



【トモシンセシスとは】

トモシンセシス (Tomosynthesis) とはTomography (断層) とSynthesis (合成) の2つの意味から作られた造語であり、**1回の断層撮影で任意の高さの裁断面を再構成する撮影技術**です。

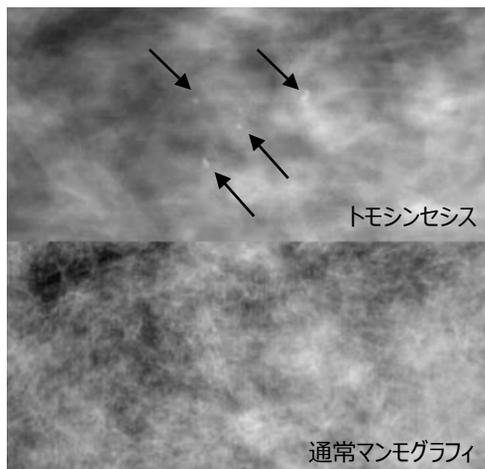
【トモシンセシスのメリット】

トモシンセシスは通常マンモグラフィが直面していた乳腺の重なりを減少させることから、腫瘍、distortion, FAD等の**乳がん検出精度を有意に向上**させる報告が多数認められています。

1回の断層撮影
(連続で17回X線照射し再構成データを作成)



トモシンセシスと通常マンモグラフィの視認性比較
(通常マンモグラフィでは見えない石灰化が視認可能)



VOXMAM (トモ評価用ファントム) 画像例

ペルルラプラスのそれぞれ トモ/通常モードにて 同一X線条件で撮影
トモは試料が視認できるスライス (1mm厚) を表示 / 一部分を拡大